

第43回八重山中学校陸上競技大会

1. 期 日 令和3年9月5日(日)
2. 場 所 石垣中央運動公園「陸上競技場」
3. 申込期日 令和3年8月23日(月)
4. 企画運営 陸上競技専門部
5. 運営責任者 池城 博史(陸上競技専門部長)
6. 競技の形式 各学校対抗競技とする。

(1) 種 目

- 《共通男子》 100m 200m 800m 1500m 3000m
110mH 4×100mR 走幅跳 走高跳 棒高跳(1年生除く)
砲丸投(5kg) ジャベリックスロー
- 《2年男子》 100m 1500m 4×100mR(2年生のみ)
- 《1年男子》 100m 1500m 4×100mR(1年生のみ)
- 《共通女子》 100m 200m 800m 1500m 100mH
4×100mR 走高跳 走幅跳 砲丸投(2.7kg) ジャベリックスロー
- 《2年女子》 100m 800m 4×100mR(2年生のみ)
- 《1年女子》 100m 800m 4×100mR(1年生のみ)

※ハードル競走について

| | 台数 | 高さ | ハードル間 |
|-------|----|--------|-------|
| 110mH | 10 | 91.4cm | 9.14m |
| 100mH | 10 | 76.2cm | 8.0m |

※種目に関しては、10月に開催される沖縄県陸上競技大会(秋季陸上)の種目に準じて行うものとし、変更する場合もある。

(2) 参加制限

- 学校単位で1種目に2人出場できる。また、1人2種目までとする。(但しリレーは除く)
- 1年と2年種目を兼ねる場合、上級学年、異種目に出場できるが県大会への出場は出来ない。但し共通種目を兼ね推薦された場合は県大会へ出場できる。
- リレーは、AブロックとBブロックにわけられる。Aブロックに参加するチームは1校2チーム、Bブロックに参加するチームは1校1チームとする。(大規模校はAブロックに参加する。)
- 基準は在籍99名以下を小規模校とする。
- リレーにおいて小規模校は、同学年でなくても編成できる。但し、上学年チームに出場する。また、小規模校は近隣の学校との合同チームを編成することができる。但し、単独校としてリレーチーム(4名)を編成できない場合に限る。その場合は、得点に加算されない。上学年チームに出場すること。
- 登録申し込み以外に補員の用紙を設け、各学校5名までとする。補員以外の競技者変更は認めない。小規模校に関しては、登録内の選手から変更を認める。ただし、個人種目2種目までとする。

(3) 競技について

- トラック競技において、予選種目がある場合は、タイムレースで上位8位を決定する。
(100m、200m、100mH、110mH)

(4) 得点

- 各種目の得点は、一位8点、二位7点、三位6点、四位5点、五位4点、六位3点、七位2点、八位1点とする。
- 同点の場合は、第一位種目の数によって順位を決め、尚それによって順位が決まらない場合は第二位の数により、以下これに準ずる。

(5) 表彰

- 一位～三位までを表彰する。
- 総合優勝、男子優勝、女子優勝に、それぞれ優勝旗を与える。
- 優秀選手賞(メダル)を与える。
※八重山新記録(タイ記録を含む)、大会新記録(タイ記録を含む)、個人種目で2種目優勝(400MRは含まない)に該当するもの。

(6) ナンバーカード

- ナンバーカードは、判定しやすいように胸・背部に確実につける。なお、跳躍種目(棒高跳・走高跳・走幅跳)の競技者は、胸部または背部のみでもよい。
- 大きさは白布で縦18cm×25.6cm(B5版型)とし、黒字で番号を記入する。
- 基本ナンバー(個人番号)

| | | | | | | | |
|-----|---------|----|---------|------|---------|-----|---------|
| 富野 | 1～9 | 川平 | 10～29 | 崎枝 | 30～39 | 名蔵 | 40～59 |
| 伊原間 | 60～99 | 石垣 | 100～149 | 白保 | 150～199 | 二中 | 200～249 |
| 大浜 | 250～299 | 竹富 | 300～319 | 黒島 | 320～339 | 小浜 | 340～359 |
| 大原 | 360～379 | 船浦 | 380～399 | 西表 | 400～419 | 船浮 | 440～449 |
| 波照間 | 450～489 | 鳩間 | 490～499 | 与那国 | 500～549 | 久部良 | 550～599 |
| 八特支 | 600～630 | 石垣 | 630～649 | 石垣第二 | 650～669 | 大浜 | 670～689 |

※石中、二中、大中は、参加人数が規定のナンバーカードをオーバーした場合は、600番台を利用する。

※一人参加の場合は若い番号をつけること。(基本ナンバーは若い番号)

- (7) 年齢に応じた学年の種目に出場することができる。また、学齢を越えた生徒は、共通種目のみに出場できる。

(8) 監督会 9月4日(土)午後5時(陸上競技場)

(9) 選手集合は8時15分とする。

※選手名簿提出後、事故ある場合は、前日の監督会で申し出て選手を変更できる。但し、大規模校は、補員登録者以外の競技者変更は認めない。小規模校に関しては、登録内の選手から変更を認める。

出場競技者注意事項

1. 競技について

- (1) 競技は令和3年度日本陸上競技連盟規則に準じて行なう。
- (2) フィールドを横切らないことを厳守する。リレーなどレース終了後は特に注意する。
- (3) 召集時間は次のとおりとする。点呼に遅れた競技者は棄権とみなす。(本人が受付をする)

| 競技種目 | 召集開始時刻 | 召集完了時刻 |
|---------|--------|--------|
| トラック競技 | 30分前 | 15分前 |
| フィールド競技 | 50分前 | 30分前 |

- (4) 同時に2種目に出場する競技者は、「2種目同時出場届」を競技者係に提出すること。
- (5) リレーに出場するチームは、召集完了時刻60分前までにオーダー用紙を競技者係に提出すること。用紙は監督会議にて配布する。
- (6) 他の種目と兼ねて出場する場合は、その旨審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。競技が平行して行われる場合には、フィールド競技においては、ワンラウンドで他の種目に出場していた場合はパスと見なす。
- (7) 集合場所から競技場に行く時は、係員の誘導に従い規律ある行動をとること。
- (8) ナンバーカードは胸、背の両面に着実につける。(但し、棒高跳、走高跳、走幅跳は胸、背のどちらかにつけても可。)
- (9) 競技者変更は監督会議にて認める。(但し、大規模校は補員登録者の中から変更し、小規模校は登録選手から変更することができる)
- (10) 競技場におけるトラック、フィールド競技の順序はプログラム記載の通りとする。
- (11) 用具は会場備え付けのものを使用する。但し、ポールは各自のものを使用する。
- (12) ジャバリックロー及び走幅跳、砲丸投の種目においては、パスラインを以下のように設定する。
パスラインをクリアできない場合は、記録を測定しないものとする。(競技時間短縮のため)
ジャバリックロー : 共通男子 40m 共通女子 25m
走幅跳 : 共通男子 4m80 共通女子 3m50
砲丸投 : 共通男子 8m00 共通女子 7m00
- (13) 800mはオープンコースで行なう。(人数が17名以上の場合は2段スタートで行う)
- (14) 異義申し立ては、通告終了後15分以内とする。(所定の用紙、規則に従う)
- (15) 決勝進出は、予選上位8位とし、同タイムの場合は抽選とする。
- (16) スパイクのピンは、トラック競技は9mm以下(段ピン)を使用し、フィールド競技も同じく、9mm以下(段ピン)を使用すること。
- (17) 8名以内の時は予選なしで決勝を行なう。

(18)バーの上げ方は次のようにする。

| | 種目 | 練習 | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 | 5回 | 6回 | 7回 | 8回 | 以後 |
|---|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|
| 男 | 共通走高跳 | 1.40m | 1.45 | 1.50 | 1.55 | 1.60 | 1.65 | 1.70 | 1.75 | 1.78 | 3 cm単位 |
| | 棒高跳 | 2.50 | 2.60 | 2.70 | 2.80 | 2.90 | 3.00 | 3.10 | 3.20 | 3.30 | 10 cm単位 |
| 女 | 共通走高跳 | 1.15 | 1.20 | 1.25 | 1.30 | 1.33 | 1.36 | 1.39 | 1.42 | 1.45 | 3 cm単位 |

(19)同成績の場合に措ける第一位決定のためのバーの上げ下げは、追加試技1回した後次の様にする。

《 走高跳 2 cm 棒高跳 5 cm 》

2. 表彰について

その種目の決勝終了後ただちに表彰を行なうので、三位入賞者は係の誘導に従い、表彰者集合場所に控えること。(服装はユニフォームを着用のこと)

3. その他

(1) 応急処置は本部医務係(救護)が行なう。それ以上の責任は負わない。

(2) 大会役員、競技役員、競技者以外は競技場内に入ってはならない。

(写真係は1校1名とし、本部で準備の記章を胸につけること)

(3) 入退場について

【開会式】

① 競技者のみバックストレッチより横一列に並び、係の支持に従いプラカードに続いて入場する。

② 服装は、ユニフォーム(競技の服装)とする。

③ 退場は、プラカードに続いて控え席に戻り一礼する。

【閉会式】

① その場で整列する。(開会式の並び方)

② 服装は下(ジャージ)とし、上は、ユニフォームか学校で統一したものとする。

③ 退場は、その場解散とする。

(4) 下記事項の指導の徹底をお願いします。

○短距離でのフライングが多い(静止ができない)

○召集完了時刻に遅れないように(場所の確認)

○スパイクのピンは、必ず9mm以下の2段ピンを使用する。

○バトンパス(テークオーバーゾーン)の指導

(5)リレー競技の県大会派遣について

①原則優勝校は単独で県大会へ出場すること。

②Bチームについては、100m走の結果を参考に選考を行う

※ただし、両チームとも補員のみでの県大会参加は認めない。

(6) 選手の引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)・部活動指導員とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めたもので、地区・県に登録されたものとする。